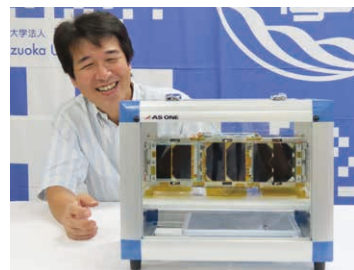


静岡大学の超小型衛星「STARS-EC」打ち上げ成功



▲打上げられたアンタレスロケット



▲STARS-ECと能見教授(2020年9月25日)

静岡大学が開発した超小型衛星STARS-EC(実施責任者・静岡大学工学部・能見公博教授)を乗せたロケットが2月21日(日本時間)、NASAワallops飛行施設(バージニア州)からの打ち上げに成功しました。

翌22日には、ロケットは国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の野口聡一宇宙飛行士が操作するロボットアームによりドッキング作業が行われ、STARS-ECは無事にISS船内へ輸送されました。今後、STARS-ECは宇宙空間への放出が予定され、宇宙エレベーター、宇宙デブリ除去に関連した技術実験が行われます。

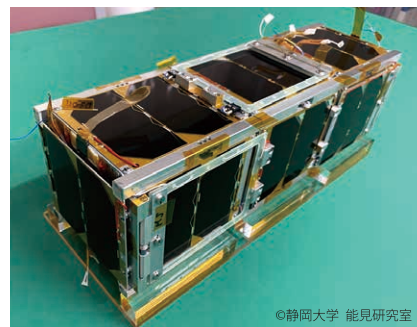
能見公博教授は、「静岡大学ではこれまでに三機の衛星を宇宙に打ち上げていますが、宇宙空間でのエレベーターの実験はまだ成功していません。これまでの衛星の技術を総合して、今回、宇宙空間でエレベーターを移動できれば世界初になる。絶対に成功させたい。」と実験の成功に向けて力を込めました。

STARS-ECは、今回、共同創業者に名を連ねる静岡大学発ベンチャー STARS Space Serviceの開発支援の下、能見教授が中心と



▲ISSのロボットアームにキャプチャされた補給船 NG-15/Cygnus

なり静岡大学で設計・開発・製造が行われました。3UサイズのCube Sat(一辺10cmの立方体衛星3基)が直列に並ぶ超小型衛星で、地球周回軌道上で両端の衛星からテザーを伸展し、約22mのエレベーターを構築します。中央の衛星がテザー上を移動することで、エレベーターの昇降実験を計画しています。STARS-ECの本宇宙実験により、宇宙エレベーター、宇宙デブリ除去へと繋がる技術の獲得が期待されています。



▲超小型衛星STARS-EC 愛称「三光／さんこう」

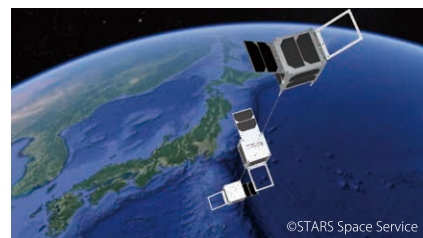
愛称は、静岡県の鳥「サンコウチョウ」から「三光(さんこう)」に決定



静岡県の鳥「サンコウチョウ」
写真提供/静岡新聞夕刊 2019年8月20日掲載

STARS-ECの愛称が、静岡県の鳥「サンコウチョウ」から「三光(さんこう)」に決定しました。愛称の公募は、令和2年12月に行い、全国から103件の応募をいただき、工学部内の選考委員会で選考した結果、「三光／さんこう」に決定しました。

「サンコウチョウ」の写真は、静岡新聞社写真部で静岡大学農学部卒業生である二神亨さんが撮影したものです。



©STARS Space Service

【考案者】

静岡市駿河区 大瀧 様
埼玉県白岡市 田中 様

【選考理由】

- ①静岡県の鳥「三光鳥(サンコウチョウ)」から命名。
- ②STARS-ECは、3つの連なる衛星から構成されており、「三光鳥」と3連の衛星が非常にイメージしやすい。
- ③三光鳥の鳴き声が「月、日、星(つき、ひ、ほし)ほいほいほい……」と聞こえることから、静岡を象徴する鳥が天文と関係した鳴き声を持つことも何かの縁を感じる。静岡と宇宙を結びつける素晴らしい愛称。
- ④地上から、3つの光が確認できればミッションの成功となる。

SUCCESS

静岡大学広報誌
「サクセス」2021 春

発行日：2021年4月1日
発行：静岡大学総務部広報室 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 tel:054-238-5179

静岡大学広報誌 サクセス 2021 春 vol.25

SUCCESS

SHIZUOKA
UNIVERSITY
CURRENT AFFAIRS &
CONNECTIVE PAPER FOR
EVERY GRADUATE,
STUDENT &
STAFF



CONTENTS

未来への懸け橋となる静岡大学をめざして

〈特集〉教養英語の新カリキュラムがスタートしています!

静岡大学の超小型衛星「STARS-EC」打ち上げ成功



国立大学法人 静岡大学

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
054-237-1111 (代表/平日8:30~17:15)
https://www.shizuoka.ac.jp